

**USPTO、先行技術を自動的に特定するシステムを用いて特許審査プロセスを
効率化する計画を進行中**

2018年3月21日
JETRO NY 知的財産部
柳澤、笠原

USPTOのAndrew Hirshfeld特許局長は、3月15日、「Licensing Executives Society」の会合で「先行技術を自動的に特定するシステムを用いて特許審査プロセスを効率化する計画を進めている」と述べた。

このシステムは特許審査開始時に先行技術情報を自動的に収集するというもので、計画第1段階は今秋中に完了すると見込まれている。

Hirshfeld特許局長は、「このシステムが導入されれば現在に比べて少ない時間でより徹底的な審査が行われるだろう。このシステムは審査官を支援し、出願人の先行技術開示義務を部分的に軽減するが、審査官の先行技術調査を代替するものではなく、審査官は先行技術調査を自分で行なわなければならない。」などと述べている。

(以上)